

性的動画・雑誌接触が青少年の性意識・行動に及ぼす影響 (2)

—性的リアリティへの影響—

○安藤玲子 (金城学院大学) ・樫淵めぐみ・鈴木佳苗 (筑波大学)
熊崎あゆち・桂瑠以・坂元章 (お茶の水女子大学)

キーワード：メディア接触，性的コンテンツ，パネル調査，Web 調査，因果関係

目的

16～49歳の1540名を対象とした調査では、初交年齢の平均は男性が18.9歳、女性が19.1歳であるが、若年層ほど初交年齢の低下傾向がみられるという (北村, 2011)。このような若年層での性行動の活発化には、同年代の性行動に関する現実認識 (性的リアリティ) が、ピア・プレッシャーとなり、「遅れを取りたくない」といった感情を喚起させることが関係している可能性がある。また、性的な情報源として、性的動画や雑誌、アダルトサイトなどが、特に男子で利用されているという (時田他, 2010)、樫淵他 (2011) は、高校生対象のパネル研究で、ネット利用によって同年代の性行動をより活発であると推測することを指摘している。

本稿(一連研究の(2))では、青少年が主要な情報源としている性的な動画や雑誌への接触が、性的リアリティにどのような影響を与えるかについて検討を行う。¹

方法

調査時期 一連 (1) と同様に1回目調査 (T1) は2011年10～11月、2回目調査 (T2) は2012年2月であった。

調査対象者 一連 (1) と同様に2回の調査に回答した15～19歳の青少年715名 (男子332名・女子383名、T1での平均年齢16.99歳) を分析対象とした。

質問項目

性的動画・雑誌接触量：一連 (1) と同一の、それぞれ4メディアの合計接触量を用いた。

性的リアリティ：日本に住んでいる同年代の青少年の性行動について、①初交年齢、②セックス経験率をそれぞれ男女別に推定させ、①については年齢、②に関してはパーセンテージで回答させた。

デモグラフィック変数：年齢、性別を尋ねた。

手続き 株式会社ネットマイルに委託して実施した。

結果と考察

基礎統計量 性的リアリティの平均値を男女別に求めた結果を表1に示す。その結果、男女ともに、女子の初交年齢を低く、セックス経験率を高く推定していることが示された。また、男子よりも女子のほうが、男子の初交年齢を低く、セックス経験率を高く推定していることが示された。本対象者のセックス経験率が1

割程度である (樫淵他, 2012) ことを考えると、現実過大視が生じていることを示すと言えよう。

性的動画・雑誌接触が性的リアリティに及ぼす影響 T2の性的リアリティ推定値を従属変数とし、T1の性的リアリティ推定値と性的動画・雑誌接触を独立変数とした重回帰分析を男女別に行った。

分析の結果、性的な動画をよく観る男子ほど、同年代の女子のセックス経験率を高く推定し ($\beta=.25, p<.001$)、性的な雑誌をよく読む男子ほど、女子のセックス経験率を高く ($\beta=.30, p<.001$)、男子の初交年齢を低く推定していた ($\beta=-.10, p<.05$)。また、性的雑誌をよく読む女子ほど男子のセックス経験率を高く推定していた ($\beta=.10, p<.05$)。

本研究の結果から、青少年はセックス経験に対し現実過大視しており、特に男子における性的動画や雑誌への接触は、このような傾向を助長する可能性が示唆された。同年代の女子のセックス経験率を高く見積もることは、若年層の男女交際におけるセックスへの移行などを促進する可能性があり注意が必要であろう。

表1 性的リアリティ推定値の男女別平均値

| | 男子 | | 女子 | |
|---------------|-------|-------|-------|-------|
| | T1 | T2 | T1 | T2 |
| ①初交年齢 (男子) | 18.14 | 18.16 | 17.56 | 17.46 |
| (女子) | 17.37 | 17.10 | 17.44 | 17.24 |
| ②セックス経験率 (男子) | 31.38 | 30.20 | 37.44 | 37.58 |
| (女子) | 36.48 | 37.10 | 38.34 | 38.61 |

引用文献

樫淵めぐみ他 (2011) 青少年のネットにおける性的コンテンツ接触が性経験に及ぼす影響 日本心理学会第75回大会論文集 139.

樫淵めぐみ他 (2012) 青少年のネットにおける性的コンテンツ接触が性経験に及ぼす影響 日本心理学会第76回大会 (発表予定)

北村邦夫 (2011) 「第5回男女の生活と意識に関する調査」平成22年度厚生労働科学研究費補助金 (成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業) 「望まない妊娠防止対策に関する総合的研究」

時田奈巳他 (2010) 若者の性意識・性行動におけるピア・プレッシャーおよびメディアの影響と性の健康教育について 北海道教育大学紀要 教育科学編 61(1), 303-312.

¹本研究は、三菱総合研究所、安心ネットづくり促進協議会と連携して行われた。